

地産地消とにいがた野菜の未来⑥

# 農業に夢を 「柏崎野菜」

全農家の九十%が稻作の兼業農家という柏崎市。かつては豊かな自然環境を生かし、多くの野菜がつくられていた。「伝統野菜を復活させ、日本古来の食文化を見直し、街の活性化と人づくりに生かそう」。平成十八年度に柏崎市、JA柏崎、新潟県が連携し、市に担い手育成係を創設。平成二十年度から、農林水産物地産地消支援事業をスタートさせ、「農家の所得を上げ、農村を元気に」「農業に夢を」と地域に根差したブランドの強化を進めている。



げん かつ ザ 元気! 活き! かわいがれ!

写真:柏崎野菜『土垂(どだれ)』



カリフラワー、新道いも、仙人菊、マコモタケ、土垂など秋の柏崎野菜



柏崎の秋野菜が買える通年直売所



●JA柏崎農産物直売所  
「愛菜館(あいさいかん)」

柏崎市田中2-14 TEL 0257-28-6711

営業時間／9:00～17:00

定休日／水曜日、年末年始(12/31～1/4)

駐車場／有

地図はJA柏崎のホームページをご覧ください。

<http://www.ja-kashiwazaki.or.jp/aisakan/20100614.html>



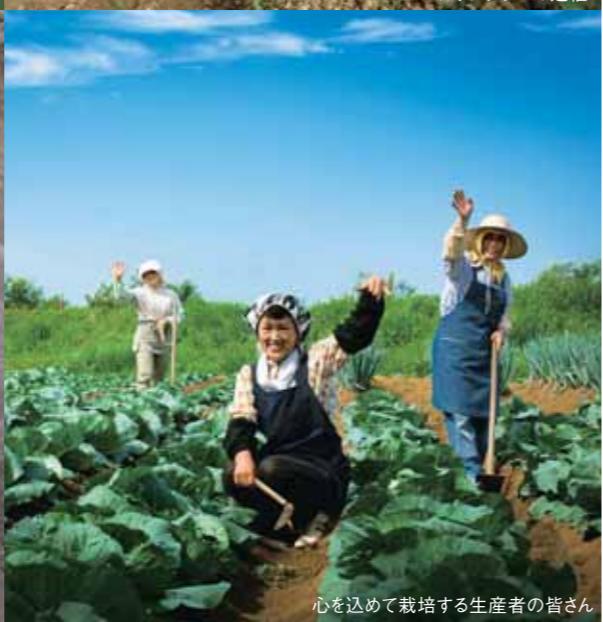
柏崎  
地場  
特産品

全地域を挙げて栽培に力を注いでいる野菜・果樹15品目

- ぜんまい(収穫時期／4～6月) ●そら豆(収穫時期／5月) ●ゆうごう(夕顔)(収穫時期／7～8月) ●いそのべ(機之辺トマト)(収穫時期／7～9月) ●糸うり(収穫時期／7～9月)
- つらなす(収穫時期／7～10月) ●えだまめ(収穫時期／7～10月) ●ズイキ(収穫時期／8～9月) ●マコモタケ(収穫時期／9～11月 食感がタケノコに似たイネ科の品種)
- カリフラワー(収穫時期／9～11月) ●土垂(収穫時期／10～11月 里いも) ●オータムボウム(収穫時期／11～3月 とうやの一種)
- 越後姫(収穫時期／1～6月 イチゴ) ●宝交早生(収穫時期／5～6月 イチゴ) ●新道柿(収穫時期／10～11月)



カリフラワーの定植



心を込めて栽培する生産者の皆さん



柏印柏崎青果株式会社  
代表取締役社長  
近藤 幸雄さん

海あり山あり里ありと、豊かな自然と風土に恵まれた柏崎市。『米山さんから雲が出た』の出だしで知られる『柏崎二階節』の中に、春日白瓜、橋場まくわ……と伝統野菜が登場する。柏印柏崎青果代表取締役社長・近藤幸雄さんは語る。「米山・八石・黒姫の刈羽三山から流れる雪解け水、鶴川、鶴石川流域の肥沃な土壤、海岸線の砂丘といった特有の地の利を生かし、柏崎は昔から野菜の大産地でした」

特に三階節で唄われた春日、橋場を中心とした西中通地域や平井、安田地区、中鶴石地域などが代表的産地で、「中でも有名なのが『刈羽節成きゅうり』を生産す

る第1名を高め、各地から注文が殺到。生産量、生産額ともに大幅に増え、街にはきゅうり長者と呼ばれる旦那衆が御殿を建て、きゅうりの蔵が建ち並んでいたと言います。刈羽節成きゅうりは伝統ある代表品種にもなったほどです」と柏崎市担当手育成係長・栗原晴彦さんは言う。また同係・鈴木豊彦さんも、宮田真美さんは「他にも南部地域新道、黒滝地区の新道いも、中鶴石地域の与板菜など、伝統野菜が六品目、特産野菜が十五品目あります」と。そんな柏崎市でも、戦後の農地改革で多くの園芸農家が米農家

に転換。昭和四十六年、電源開発の誘致が始まるや、海岸線の砂丘で大規模に野菜栽培を営んでいた二つの農場が廃業し、翌四十七年から始まった減反政策も相まって「それまで野菜栽培に熱心だった農家の後継者が相次いで離農し、安定収入を求め、サラリーマンとなりました」と、柏印柏崎青果・近藤さんは言う。「今、柏崎市では九十半」と柏崎市担当手育成係長・栗原晴彦さんは言います。また同係・鈴木豊彦さんも、宮田真美さんは「他にも南部地域新道、黒滝地区の新道いも、中鶴石地域の与板菜など、伝統野菜が六品目、特産野菜が十五品目あります」と。そんな柏崎市でも、戦後の農地改革で多くの園芸農家が米農家

に転換。昭和四十六年、電源開発の誘致が始まるや、海岸線の砂丘で大規模に野菜栽培を営んでいた二つの農場が廃業し、翌四十七年から始まった減反政策も相まって「それまで野菜栽培に熱心だった農家の後継者が相次いで離農し、安定収入を求め、サラリーマンとなりました」と、柏印柏崎青果・近藤さんは言う。「今、柏崎市では九十半」と柏崎市担当手育成係長・栗原晴彦さんは言います。また同係・鈴木豊彦さんも、宮田真美さんは「他にも南部地域新道、黒滝地区の新道いも、中鶴石地域の与板菜など、伝統野菜が六品目、特産野菜が十五品目あります」と。そんな柏崎市でも、戦後の農地改革で多くの園芸農家が米農家

に転換。昭和四十六年、電源開発の誘致が始まるや、海岸線の砂丘で大規模に野菜栽培を営んでいた二つの農場が廃業し、翌四十七年から始まった減反政策も相まって「それまで野菜栽培に熱心だった農家の後継者が相次いで離農し、安定収入を求め、サラリーマンとなりました」と、柏印柏崎青果・近藤さんは言う。「今、柏崎市では九十半」と柏崎市担当手育成係長・栗原晴彦さんは言います。また同係・鈴木豊彦さんも、宮田真美さんは「他にも南部地域新道、黒滝地区の新道いも、中鶴石地域の与板菜など、伝統野菜が六品目、特産野菜が十五品目あります」と。そんな柏崎市でも、戦後の農地改革で多くの園芸農家が米農家

に転換。昭和四十六年、電源開発の誘致が始まるや、海岸線の砂丘で大規模に野菜栽培を営んでいた二つの農場が廃業し、翌四十七年から始まった減反政策も相まって「それまで野菜栽培に熱心だった農家の後継者が相次いで離農し、安定収入を求め、サラリーマンとなりました」と、柏印柏崎青果・近藤さんは言う。「今、柏崎市では九十半」と柏崎市担当手育成係長・栗原晴彦さんは言います。また同係・鈴木豊彦さんも、宮田真美さんは「他にも南部地域新道、黒滝地区の新道いも、中鶴石地域の与板菜など、伝統野菜が六品目、特産野菜が十五品目あります」と。そんな柏崎市でも、戦後の農地改革で多くの園芸農家が米農家

## 野菜づくりを生きがいに



# 失われた食文化を ふたたび

## 柏崎野菜は故郷の誇り



## 野菜づくりを生きがいに



# 失われた食文化を ふたたび



## 柏崎で古くから栽培されている希少な味覚を持った野菜6品目

- 刈羽節成きゅうり(収穫時期／6～8月 主な产地／西中通地域橋場地区) ●緑なす(収穫時期／7～10月 主な产地／南鶴石地域宮之下地区)
- 与板菜(収穫時期／11月 主な产地／中鶴石地域与板地区) ●仙人菊(収穫時期／10～11月 主な产地／南鶴石地域西之入地区)
- 黒姫人参(収穫時期／10～12月 主な产地／高柳町磯の辺地区) ●新道いも(収穫時期／10月 主な产地／柏崎市南部地域新道、黒滝地区)

柏崎  
伝統  
野菜